

# 総合図書館 清教リブラリア

## 事業報告 2013

- ・ 文部科学省委託助成研究が終了
- ・ 「図書館を使った調べる学習コンクール」高3 さん・ さん受賞
- ・ 『なんでも学べる学校図書館をつくる』出版
- ・ 国際子ども図書館「調べものの部屋プロジェクト」への参加

# I トピックス

## ① 文部科学省委託助成研究が終了

本年度、外部の有識者を含めた 11 名の事業委員会のもと、文部科学省の「確かな学力の育成に係る実践的調査研究 ②学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」を受託し、2014 年 3 月 8 日午後、その報告会がリブラリアで開催されました。

今回の報告会のテーマは「入学時から始める読書生活の習慣化：学校図書館と学校司書の役割」です。参加者は 46 名でした。大阪府内外からは、鹿児島県・愛媛県・兵庫県・和歌山県・京都府・神奈川県・千葉県・茨城県からの参加があり、その所属も小学校・中学校・高等学校の教諭、司書、大学教授、児童文学の研究者等と多様でした。

当日は報告会に先立つ 12 時半から 1 時間、リブラリアの見学会が行われ、学校長からの挨拶の後、司書教諭の南より「清教学園リブラリアと『すくど文庫』」の発表がありました。

次いで「カウンターから見える学校司書の任務」と題して学校司書の山根・平井からの発表がありました。図書館のカウンターで起こる日々の出来事を一カ月半記録し、学校司書の実務実態を調査した研究報告です。学校司書の役割の専門性と問題を分析・報告しました。

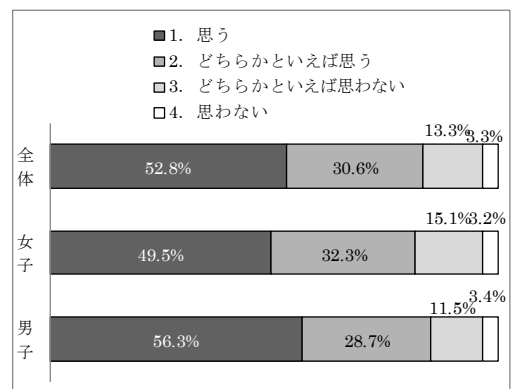
休憩をはさんで、ワークショップ『おためし読書』で探る中学生をつかむ本』が行われました。「おためし読書」は「すくど文庫」の本を使って行われる、中 1 の総合学習の授業です。参加者に実際に体験していただいた後、机を寄せての情報交換が行われました。

今回の実践研究の成果として、新入生に対する読書習慣の定着があげられます。「中学生になって読書をするようになったと思いますか」という問いに対して 8 割以上の生徒が「するようになった」と答えています。特に、読書への関心が低くなるとされる男子生徒の 85%が、肯定的な回答を寄せています。また、読書量を「第 58 回学校読書調査報告」<sup>1</sup>の中学生の平均値 4.1 (冊/月) と比較したところ、清教学園 1 年生は 10.6 (冊/月) であり、全国平均の倍を上回りました。



上:「おためし読書」のワークショップ  
下: 歓談する参加者

### 「中学生になって読書をするようになった」が 8 割を超える



「中学生になって読書をするようになったと思いますか」への回答の割合

<sup>1</sup>全国学校図書館協議会『学校図書館』2012 年 11 月号 745 号 p.14 より。清教学園の数値は中学 1 年生に限られます。また、清教学園調査は 6 月、全国調査は 5 月でした。

②「図書館を使った調べる学習コンクール」高3 米田君・中元君受賞

「第17回 図書館を使った調べる学習コンクール」(主催:公益財団法人 図書館振興財団)において44期卒業生(旧高校3年A組)さんが『無人駅問題はどうすれば解決できるか:南海電気鉄道为例に』で図書館振興財団賞を、また同クラスのさんが『なぜ子どもは外で遊ぶなくなったのか:大人の過剰管理打開による外遊び再生』で活字文化推進会議賞を受賞しました。表彰式は3月8日に東京五反田の「ゆうぼうと」で開催されました。卒業生このコンクールへの入賞は清教学園として6年連続10人目です。入賞は応募作品全52,186点中、34作品でした。

17 図書館を使った調べる学習コ  
主催:公益財団法人 図書館



授賞式の さん(右)と さん(左)

七兵庫・大阪

2014年(平成26年)3月4日(火曜日) 言 堂 業 斤 局

清教学園高・中元さん「図書館を使った調べる学習」優秀賞

## 外で遊ぶ子 減ったのなぜ

中元さんの論文のテーマは「なぜ子どもは外で遊ぶなくなったのか—大人の過剰管理打開による外遊び再生」(A4判、54頁)。

小学教諭になるのが夢という中元さんは、地元の小学校の校庭や公園で放課後に遊ぶ

子供の姿を見なくなったことが気になり、テーマに選んだという。

論文で、外で遊ぶことが身体的、精神的な発達を促すことに触れ、外で遊ぶ時間が減っていることを示す統計を提示。小学校の先生や児童への

図書館の資料を活用して論文を発表する「第17回図書館を使った調べる学習コンクール」(公益財団法人図書館振興財団主催、文部科学省、読売新聞社、活字文化推進会議など後援)の「高校生部」で、清教学園高(河内長野市)の3年中元啓介さん(18)(泉佐野市)が「優秀賞・活字文化推進会議賞」に選ばれた。表彰式は9日、東京都内で行われる。



どのようにして論文を書いたかを話す中元さん(河内長野市の清教学園で)

**統計や海外の例引き考察**

取材などから、遊び場が減少し、親が子供に携帯電話や携帯ゲーム機などを与える現状、学校や塾などで勉強する時間が増えていることなどを原因として示した。

公立図書館の蔵書から外遊びを促す国内やドイツ、アメリカの活動も引用し、紹介している。

中元さんは「大人がキャンプに連れて行くなど、外で遊ぶきっかけを与えることが大切になる。この受賞を励みに、外遊びを復活させるアイデアを考えていきたい」と話している。

活字文化推進会議賞を受賞した

さんを報じる読売新聞[大阪版]

### ③『「なんでも学べる学校図書館」をつくる』出版

『「なんでも学べる学校図書館」をつくる：ブックカタログ&データ集』が、少年写真新聞社より9月に出版されました。リブラリア職員4名の共著による本書は、中学3年生1300人の卒業研究のテーマと作品の分析を基礎的なデータとしたブックガイドです。

中学生に『どんな興味があるのか』『どんな本が必要か』、そして『探究学習をどうすすめるか』、この3つの問い(テーマ)に答えたいと意図して本書は書かれました。子どもの興味・関心・探究心に応えうる蔵書を学校図書館が整えるための基礎資料が紹介されています。



### ④国際子ども図書館「調べものの部屋プロジェクト」への参加

国立国会図書館 国際子ども図書館では、2015年の新館開館に合わせて、中高生向けの「調べものの部屋(仮称)」を開室予定です。この部屋では、学校図書館における学習支援のモデルケースをイメージしたサービスを提供する予定です。開室に先立ち「中高生向け調べものの部屋の準備調査プロジェクト」が発足し、清教学園も2012年度から様々な形でプロジェクトへの協力を行っています。

第一に、学校図書館の蔵書データの分析調査への協力があります。この調査は蔵書データを計量的に分析し、先進的な学校図書館コレクションの傾向等を明らかにするものです。次に、学校図書館事例調査として、先進的な学習支援活動を行っている学校図書館の一例として清教学園への訪問調査がありました。この調査は学校図書館の実務者からの取材を通じて、コレクション形成及び資料選定の方法や課題を明らかにするものです。

2013年6月15日には実務者インタビュー調査が国会図書館関西館で行われました。この調査は学校図書館の実務者が持つコレクション形成に関する暗黙知を探るためのもので、学校図書館事例調査の対象館の担当者が集まり、グループインタビューが行われました。

こうした一連の調査結果が「コレクション形成に関する学校図書館事例調査」、「学校図書館における資料選定の情報源に関する補足調査」「近畿圏の学校図書館実務者へのインタビュー記録」として、国際子ども図書館のホームページ<sup>2</sup>上に公開されており、さらに調査プロジェクトの報告書『学校図書館におけるコレクション形成：国際子ども図書館の中高生向け「調べものの部屋」開設にむけて』が2014年3月末に刊行されました。



イラスト：国際子ども図書館 HP より

<sup>2</sup> 国立国会図書館 国際子ども図書館「中高生向け調べものの部屋の準備調査プロジェクト」  
<http://www.kodomo.go.jp/promote/school/room.html>(2014年3月28日参照)

## II 施設概要

名称：総合図書館 清教リブラリア

所在地：〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

Tel：0721-62-6828（内線 29）HP：http://www.seikyo.ed.jp/

理事長：中尾恒夫 副理事長：井上隆 理事：安達英行

中高・校長：森創 中学・副校長：森野章二 高校・副校長 内田靖

中学・教頭：菊岡秀行 高校・教頭：安藤浩明

図書館教育：片岡則夫（館長） 山根美智子（司書） 廣田健心（国語）

南百合絵（司書教諭） 平井祐美子（非常勤司書）

生徒数： 中学校 662 名 高等学校 1347 名 合計 2009 名 職員数 157 名

学級数： 中学校 16 学級 高等学校 33 学級 合計 49 学級

設置： 2002 年 4 月（「総合図書館清教リブラリア」として現在の形で開館）

### 図書館：

床面積：約 256 m<sup>2</sup> カウンター 司書室を含む

座席数：20 席 書庫（スタディーホール・ホール上）

業務端末：5 台 生徒検索端末：2 台 無線 LAN

### 総合学習室：

床面積：約 98.2 m<sup>2</sup>

座席数：48 席 生徒用 PC：48 台 教師用 PC：1 台 無線 LAN

## III 資料

蔵書数：46,599 冊（前年度 44,118 冊／+2,481 冊）

受入数：4,854 点（前年度 5159 点）

購入図書：3,659 冊 購入視聴覚資料：0 点

寄贈図書：734 冊

遡及作業：32 冊（バーコード貼付による登録資料）

生徒作品：188 冊

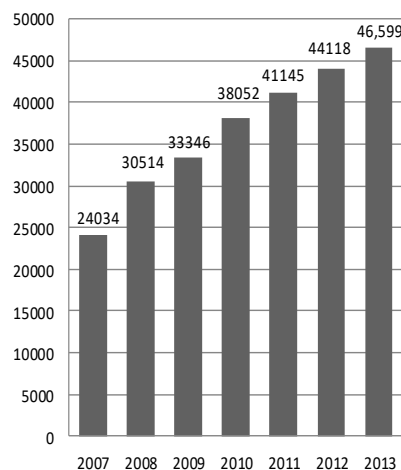
平均単価：1,507 円/冊

除籍数（雑誌含む）：1,286 冊（前年度 1433 冊） ※2F、3F の蔵書も見直し

蔵書新鮮度：10.4%（前年度 11.5%）

蔵書新鮮度＝その年の蔵書受入冊数÷全蔵書冊数

（この数字が高ければ高いほど頻繁に蔵書を回転させており、書架に新しい本が多いことを示します。）



蔵書数の推移

## 購入雑誌・新聞

購入雑誌タイトル（図書館 18 誌）

Number	学校図書館	News がわかる	MOE
Newton	季刊かつら	日経サイエンス	鉄道ジャーナル
関西ウォーカー	スクリーン	DAYS JAPAN	週刊東洋経済
ダ・ヴィンチ	オレンジページ	ナショナル・ジオグラフィック	日本版

購入新聞

朝日新聞	朝日中学生ウィークリー（毎週日曜日）
Japan Times	Asahi Weekly（毎週金曜日）

## 2013 年度蔵書統計

### 1. 購入図書冊数

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史 地理	3 社会 科学	4 自然 科学	5 工業	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	まんが 絵本他	合計
冊数	97	142	424	371	479	372	296	515	63	880	20	3659
%	2.7	3.9	11.6	10.1	13.1	10.2	8.1	14.1	1.7	24.1	0.5	100

### 2. 購入視聴覚数 0点

### 3. 寄贈図書

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史 地理	3 社会 科学	4 自然 科学	5 工業	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	まんが 絵本他	合計
冊数	27	39	142	51	70	18	7	32	48	270	30	734

※ まんが・絵本他には視聴覚資料 15 点を含む

### 4. 教室設置用図書購入分（2014 年度より設置の教室文庫「すくどの本」のため）

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史 地理	3 社会 科学	4 自然 科学	5 工業	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	まんが 絵本他	合計
冊数	3	1	4	13	14	2	6	9	0	124	0	176

### 5. 文部科学省委託研究費購入分（「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」のため）

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	1	1	0	4	10	2	5	4	0	37	1	65

### 6. 遡及作業

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史 地理	3 社会 科学	4 自然 科学	5 工業	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	まんが 絵本他	合計
冊数	0	1	0	1	2	0	1	13	1	12	1	32

7. 生徒作品受入分

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史 地理	3 社会 科学	4 自然 科学	5 工業	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	まんが 絵本他	合計
冊数	0	1	0	1	2	0	1	13	1	12	1	32

8. 総受入冊数

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史 地理	3 社会 科学	4 自然 科学	5 工業	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	まんが 絵本他	合計
冊数	132	187	577	464	604	426	358	611	115	1328	52	4854

9. 総蔵書数・蔵書構成

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史 地理	3 社会 科学	4 自然 科学	5 工業	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	まんが 絵本他	合計
蔵書合計	1394	2707	4541	5242	5911	3153	2514	5217	1328	13904	688	46599
寄贈	222	290	577	563	518	134	97	435	274	3280	215	6605
生徒作品	26	19	56	133	158	143	144	143	37	16	1	876
%	3	5.8	9.7	11.2	12.7	6.8	5.4	11.2	2.8	29.8	1.5	100

10. 紛失図書

	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
冊数	523※	137	79	148	207	144
紛失率 (%)		0.41	0.21	0.36	0.47	0.30

※これまでの紛失図書の累計値

**年間紛失率** (年間紛失冊数 ÷ 蔵書冊数 × 100) : 0.30% [被害総額約 21 万円]

## IV 利用

**開館時間** 月曜日～金曜日 8:10～18:00 土曜日 8:10～16:30 ※長期休暇中は別に定める

**開館日数** 267日

**授業利用時間数** 年間約 450 時間

中学総合学習週 16 時間・高校探究週 4 時間、美術のモチーフ探し等随時

### 貸出方法・期間

貸出冊数：20 冊まで／ 貸出期間：14 日以内 ※長期休暇中は別に定める

### ひとりあたりの貸出冊数（貸出密度）

全生徒 19.7 冊／年（前年度 21.9 冊／年）

中学生 44.3 冊／年（49.0 冊／年）

高校生 7.55 冊／年（8.2 冊／年）

職員 11 冊／年（13.3 冊／年）

**開館日 1 日あたりの貸出冊数**：155.7 冊（前年度 166.3 冊）

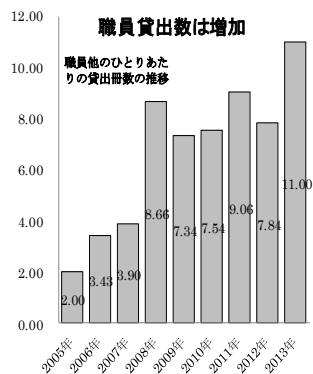
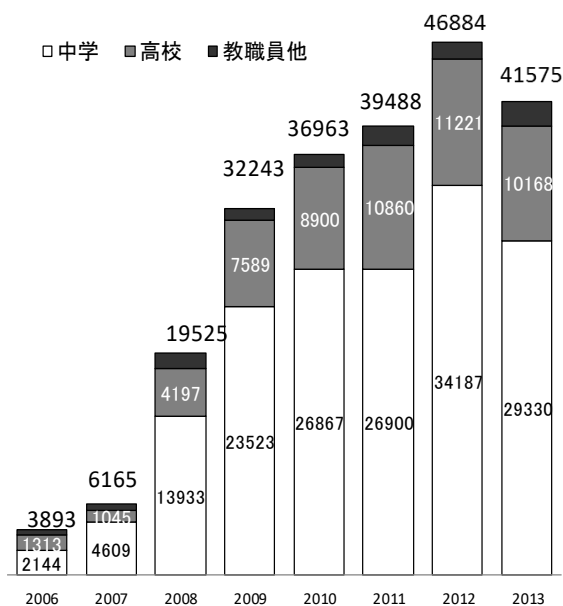
### 蔵書回転率（蔵書 1 冊あたりの平均貸出冊数）

（蔵書回転率＝年間貸出冊数÷全蔵書冊数）：8.92 冊（前年度 1.06 冊）

**蔵書新鮮度**（その年の蔵書受け入れ冊数÷全蔵書冊数×100）：10.42%（前年度 11.6%）

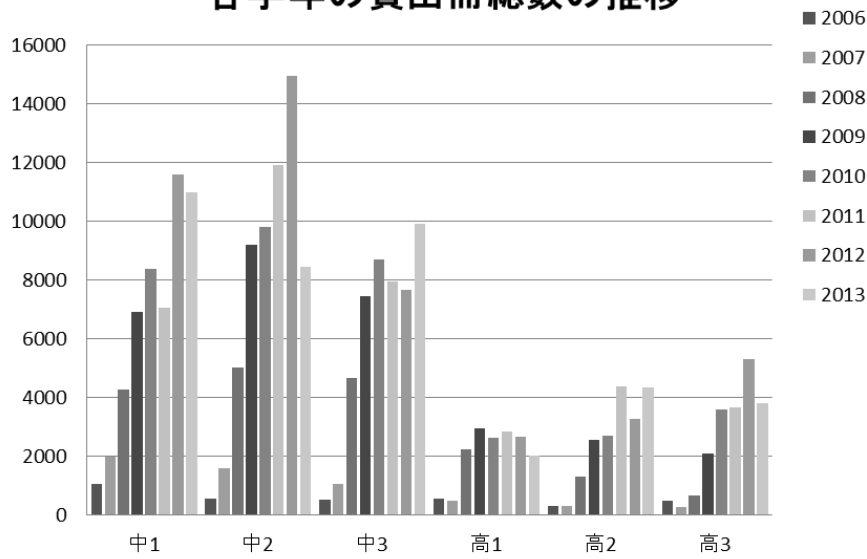
※ この数字が高ければ高いほど頻繁に蔵書を回転させており「書架に新しい本が多い」ということになる。

総貸出冊数は頭打ち





## 各学年の貸出冊総数の推移



## 年間貸出統計

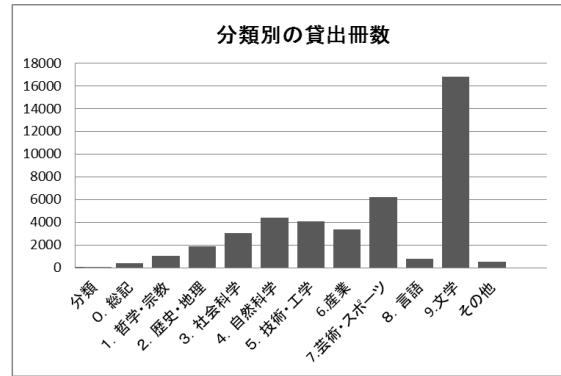
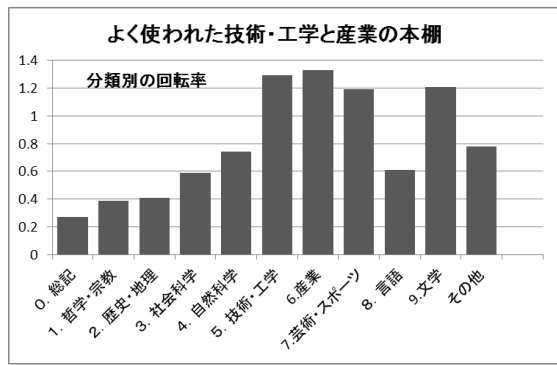
	中1	中2	中3	中学生 貸出合計	高1	高2	高3	高校生 合計	職員	保 護 者	教科 他	総貸 出数	開館 日数	1日平均	予約・ リクエスト
4月	1245	1064	1177	3486	155	219	388	762	84	0	20	4352	20	217.6	159
5月	967	1388	1717	4072	145	206	445	796	134	1	0	5003	23	217.5	159
6月	1111	1296	1846	4253	153	208	675	1036	127	7	169	5592	25	223.7	169
7月	1029	1157	1451	3637	193	232	604	1029	150	4	0	4820	24	200.8	95
8月	252	345	387	984	98	76	377	551	219	16	87	1857	25	74.3	25
9月	943	811	1223	2977	152	445	463	1060	56	0	0	4093	23	178	155
10月	1290	546	837	2673	172	379	285	836	223	5	3	3740	25	149.4	89
11月	727	461	423	1611	168	557	222	947	111	6	1	2676	24	111.5	42
12月	1324	219	326	1869	180	325	70	575	171	14	5	2634	20	131.7	35
1月	742	365	253	1360	228	577	60	865	178	3	0	2406	19	126.6	69
2月	935	499	139	1573	147	436	146	729	119	2	0	2423	17	142.5	66
3月	417	292	126	835	212	690	80	982	155	7	0	1979	22	90	45
集計	10982	8443	9905	29330	2003	4350	3815	10168	1727	65	285	41575	267	155.7	1108

## 分類別貸出冊数の統計

分類	0総記	1哲学	2歴史 地理	3社会 科学	4自然 科学	5工業	6産業	7芸術	8言語	9文学	その他	合計
貸出冊数	375	1048	1873	3076	4377	4082	3341	6232	811	16824	536	41575
回転率	0.27	0.39	0.41	0.59	0.74	1.29	1.33	1.19	0.61	1.21	0.78	0.89

※ その他は他館からの借受本など。

※マンガは7類芸術に含む。



### すくど文庫の蔵書と貸出統計

分類	0総記	1哲学	2歴史 地理	3社会 科学	4自然 科学	5工業	6産業	7芸術	8言語	9文学	絵本	合計
蔵書冊数	41	65	65	135	270	77	67	206	23	1508	62	2519
貸出冊数	36	59	47	127	161	63	88	206	34	3473	15	4309
回転率	0.88	0.9	0.72	0.94	0.6	0.82	1.31	1	1.48	2.3	0.24	1.71

**複写申請数** 262 件 (昨年度 289 件)

**他館借受本** 約 2055 冊 (昨年度約 1680 冊) 河内長野図書館他

**予約率** (予約数÷貸出冊数×100) : 2.67%

### 図書館登校生徒 :

中学生 8 名 / 高校生 1 名 / 教育相談室に登校する生徒を待つ保護者 1 名等

年間利用日数 : 約 240 日

留学生 2 名 : 空き時間をリブラリアで課題をしたり PC を利用したりして過ごす。

## V 2013年度の記録

### 「図書館だより」と特集展示(主に窓際のテーブルで)

[2013年]

3月末～4月 映画「OZ(オズの魔法使い)」上映に合わせて各種ファンタジーを展示(担当南)

4月27日～「図書館便り」5月号「新作中2ブックレット」紹介(担当片岡)

6月4日～「図書館便り」6月号ノンフィクションを中心に紹介(担当平井)

6月20日～「七夕」七夕飾りを置き短冊に生徒の願いを書いてもらった。

6月29日～「図書館便り」7月号第1弾「中学・高校生におすすめする本」

堀川アサコ『幻想郵便局』 村上春樹『雑文集』など(担当山根)

7月1日～「チャンヘンさんについてもっと知りたい！」在日コリアンの作家の本を紹介(担当南)

7月 「図書館便り」7月号第2弾「中学・高校生におすすめする本」

大森正司『お茶の大研究』, 林完次『星空の歩き方』など。(担当山根)

9月 「図書館便り」9月号「この作家がスゴイ」辻村深月, 井坂幸太郎, 横山秀夫など(担当廣田)

10月 「図書館便り」10月号「もう読んだ? ベストテン中学生が読みたい本」(担当片岡)

森絵都『カラフル』 上橋菜穂子『獣の奏者』 やみねかおる『都会のトムソーヤ』等

11月 「図書館便り」11月号「クリスマス特集」クリスマス関連の資料を展示(担当平井)

12月 「図書館便り」12月号「ともだち・いじめ・家族」トンケ・ドラフト『王への手紙』後藤竜

二著『12歳たちの伝説』奥田英朗『サウスバウンド』ほか(担当南)

[2014年]

1月 「図書館便り」1月号「高校生アンケートから」百田尚樹『永遠の0』

S・Rコヴィー『7つの習慣』 三浦綾子『ひつじが丘』ほか(担当廣田)

2月 「図書館便り」2月号「中学・高校生におすすめする本」(担当山根)

### 年度を通じた活動(通常業務以外)

- ・ 遡及作業: 未登録の本・雑誌・CD・DVDの登録作業継続
- ・ 登録バーコード位置統一作業(貸出・返却作業, 蔵書点検作業の効率化をはかるため)
- ・ 図書委員会の活動: 「書架整理係」を中心に実施
- ・ 留学生の自習スペースとしての利用(コンピュータの貸出等)。
- ・ カウンセリングルームと連携し教室に入れない生徒の居場所の提供(カウンセリング協議会への参加)。
- ・ 「新着図書のお知らせ」の配布: 教職員, 各クラス, 河内長野市立図書館にも配布・掲示。
- ・ 階段横のスペースを利用して, 原作本のある映画や美術館の案内などを随時展示。



大きくなった, 分類のサイン

- ・寄贈本の受入：職員・生徒・関係者からの寄贈本が増加。登録作業継続。
- ・書架の分類サインの一部リニューアル
- ・書籍の移動：書籍の増加・除籍に伴い、スタディーホールを含めて大幅な本の移動を行い、同時に棚番号も変更した。

## 行事

[2013年]

- 4月～5月1日 図書館ガイダンス（連携コースを除く高校全クラス）：朝の読書の時間に実施。
- 5月7日 図書館クイズ 参加者約30名
- 7月10日 ブッカー選手権開催 参加者約20名
- 10月21日 図書館クイズ 応募者43名

[2014年]

- 2月12～22日 リサイクル本の譲渡（廃棄図書・雑誌等）
- 12月6日 宗教部共催 リブラリア・クリスマス 参加者約40名
- 2月24日～28日 蔵書点検
- 3月8日 文部科学省委託研究報告会 「入学時から始める読書生活の習慣」開催  
外部参加者46名

## 訪問者（敬称略・[ ]内は来館目的）

[2013年]

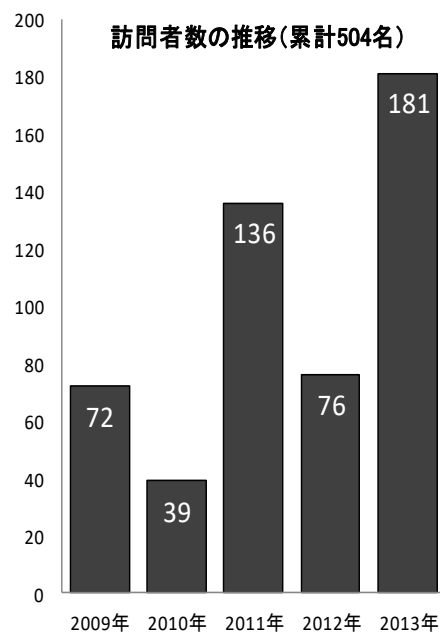
- 4月2日 甲南中・高等学校教諭 [探究学習取材・見学]
- 5月9日 KECゼミナール（学習塾）社員15名 [学校・リブラリア見学]
- 5月11日 少年写真新聞社 [打ち合わせ・見学]
- 5月13日 和歌山県 私立開智中・高等学校より 他2名 [見学]。
- 5月17日 フィリピン サン・ファン・デ・レトラン学院より24名  
河内長野国際交流協会スタッフ6名 [中学総合授業・リブラリア見学]
- 6月3日 箕面自由学園より6名 [学校・リブラリア見学]
- 6月7日 和泉市立榎尾中学校生徒2年生11名・教育実習生1・担当教諭1名 [見学]
- 6月15日 中学入試説明会：約200組 [見学]
- 6月22日 小5体験学習：見学者多数 [見学]。
- 7月4日 (17年前のコスタリカの留学生) ご主人と共に来日。通訳者の方と [見学]。
- 8月8日 横須賀学院中学・高等学校 (司書教諭)  
八王子学園中学・高等学校 (司書教諭)  
国分寺市立第九小学校 (学校司書) [リブラリア見学・情報交換]
- 9月6日 堺市立中央図書館 (司書) (司書) [打ち合わせ・見学]
- 10月11日 グローバルマンディリスクール（インドネシア）：3名 [見学]
- 10月31日 甲南中・高等学校 [高2探究科授業取材・リブラリア見学]

- 11月8日 箕面自由学園 [見学]  
 11月8日 公開授業のため静岡から30名, リブラリアも見学  
 11月22日 静岡県私学教育振興会 学校図書館県外視察研修会より  
 沼津市桐陽高等学校 坂根英夫, 東海大付属翔洋高校 他9名 [見学]  
 11月29日 武庫川女子大 [文科省委託研究指導・見学]  
 [2014年]  
 1月31日 沼津市立静浦小学校  
 豊岡市立神美小学校 [新学校図書館設計・運営のための取材と見学]  
 2月13日 関西大学高等部 同初等部 [探究科・リブラリア見学]  
 2月20日 (有)読書工房(東京都)  
 [全国学校図書館協議会『としょかん通信』取材・見学]  
 2月21日 読売新聞社記者 [高3A さんコンクール受賞取材]  
 2月25日 渋谷教育学園渋谷中高等学校 [探究科情報交換・リブラリア見学]  
 3月7日 東京学芸大学 関西大学総合情報学部  
 [文部科学省委託研究打ち合わせ・リブラリア見学]  
 3月8日 文部科学省委託研修会「入学時から始める読書  
 生活の習慣化」外部参加者46名  
 3月18日 国立国会図書館関西館  
 [レファレンス共同データベース取材・協力依  
 頼・見学]

計181名(入試説明会, 小5体験学習等の学校見学者を除く)

### 雑誌・新聞記事・寄稿等

- ・「清教学園リブラリア『生徒の使いたい本はこれ! 調べ学習に役立つブックガイド: 清教学園リブラリアの本棚から』「セドック」(少年写真新聞社 Web サイト), 2013年4月~2014年3月 [計12回の連載] [執筆: 南]  
[http://sedoc.ne.jp/sample/2011book\\_use/index.html](http://sedoc.ne.jp/sample/2011book_use/index.html),
- ・『なんでも学べる学校図書館』をつくる: ブックカタログ&データ集 「中学生1,300人の探究学習から」 (少年写真新聞社) 2013年9月14日 [執筆: 片岡・南・山根・平井]
- ・「清教学園高・さん『図書館を使った調べる学習』優秀賞: 外で遊ぶ子減ったのなぜ」『読売新聞』(大阪版・朝刊) 2014年3月4日, 約91万部
- ・「確かな学力の育成に係る実践的調査研究②学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究事業実施報告書」3月14日 [執筆: 事業委員会]



## 外部講師等

- ・2013年7月30日・8月22日 大津市立図書館「夏休み図書館 調べ学習講座 2013」会場：大津市立図書館（片岡）
- ・2013年8月5日 静岡県総合教育センター司書教諭実践力向上研修「学校図書館で読む・学ぶ：出会いから探究へ」会場：静岡県総合教育センター（片岡）
- ・2013年8月7日・8月24日 大阪府熊取町立熊取図書館「調べる学習応援講座 2013」会場：熊取図書館（片岡・南）
- ・2013年8月20日 兵庫県立図書館「図書館を使った授業支援：探究型学習による学習能力の向上」会場：兵庫県立図書館（片岡）
- ・2013年9月29日 堺市立東図書館「図書館でねこ探し！ 楽しく学ぼう，情報検索力」（片岡）

## 印刷物

- ・2013年5月1日『すくど文庫リスト：中学65期 総合的な学習の時間』（中学1年用）400部
- ・2013年9月1日『卒業論文の基礎：タラントン2014』（高校2年探究科用テキスト）200部
- ・2014年1月1日『卒業研究の手引き：総合的な学習の時間テキスト2013』（中学2・3年用テキスト）250部
- ・2014年1月1日『卒業論文のデザイン：タラントン2014』（高校2・3年探究科用テキスト）200部
- ・2014年3月20日『タラントン2013：連携コース卒業論文』（探究科卒業論文要旨集）200部
- ・2014年3月8日『入学時から始める読書生活の習慣化：学校図書館と学校司書の役割』（文部科学省委託研究報告会資料）400部

## リブラリアに関係した生徒作品の受賞等

**【第17 図書館を使った調べる学習賞コンクール】** 主催：公益財団法人 図書館振興財団

**優秀賞・図書館振興財団賞**（高校生の部）

さん『無人駅問題はどうすれば解決できるか：南海電気鉄道を例に』

**優秀賞・活字文化推進会議賞**（高校生の部）

さん『なぜ子どもは外で遊ばなくなったのか：大人の過剰管理打開による外遊び再生』

**優良賞**（全72作品）

さん『「スポーツ小説」の面白さとはなにか：特徴別タイプ分析』（高3A）

**奨励賞**（全113作品）

さん『お化け屋敷は海外でも流行するか：世界に通用するジャパニーズホラーの魅力とは』（高3A）

さん『脳：気になる中身』（中3A）

さん『ゆる～い，キャラクター もう今はゆるくない！？』（中3B）

さん『栄養学とダイエット：健康な食事の正しい知識を知ろう！』（中3E）

**佳作**（全661作品）

さん『ホスピスにおけるキリスト教の役割とは：自分らしい最期を迎えるために』（高3A）

さん『なぜコーヒーは日本で人気を得たのか：コーヒー片手に「働く人」との関係から』（高3A）

さん『高速バス：安全性と顧客ニーズを実現する新高速バス』（高3A）

さん『個性あふれるお仕事 イラストレーター』（中3D）

コンクールの応募総数は過去最高の 52,186 作品点，うち入賞は 34 作品でした。また，高校の部の応募は 1,724 点，中学の部の応募は 12,949 点でした。

## VI 課題

### ①利用者のマナーと安全

本年度の委託研究でも明らかになったように，昼休みや放課後を中心とした「利用者のマナーと安全」が第一の課題として挙げられます。

調査期間においても，死角になる本棚の間にたむろしたり，はしゃいだりする生徒を度々注意しなければなりません。昼休みを例にとれば，カウンターには絶えず貸し借りの生徒が訪れます。原則二人体制のカウンターでも，本棚の死角までは目が行き届かないのが実情です。連日約 50 名を超える生徒が昼休みには図書館に滞在し，のべ約 100 名近い生徒が入館します（写真）。学校図書館の入館者が増え業務が増えるにつれ，ルールを守らない生徒や問題を抱える生徒への対応が難しくなっています。

今回の調査では「時間つぶし」で来館したと思われる生徒は全体の 2 割でした。こうした生徒が，本のある環境で過ごすという意義はあっても，本来の利用者に迷惑をかけるようでは本末転倒です。

図書館の居心地がよくなり魅力が増せば，利用者は増えますが，その一方で，様々な生徒を招くことにもなります。マナーの指導とともに，本棚の配置や図書館の設計の見直し，（大学図書館のような）監視システムの導入，図書館とは別の PC も利用可能なラーニングルームの設置等を考えるべき局面に来ていると思われま

### ② 高校生の利用率の低さ

中学生の貸出冊数がひとりあたり年平均 44.3 冊に対して，高校生は約 7.55 冊でした。高校生の利用率の低さが目立ちます。この傾向はこの 8 年一貫して見られます。

理由の第一は図書館の位置にあります。高校生の生活動線上に図書館がないため，中学で図書館利用を身につけた 6 年コースの生徒も，高校入学後，縁遠くなってしまいます。特に教室の遠い高校 1・2



混雑する昼休みの館内

年生にとって来館は難しいようです。第二の理由として授業における利用時間の少なさも高校生の貸出低調の理由と考えられます。

こうした傾向を改善するために、2014年度では高校1年生への利用案内の時間を情報の授業を割いていただき設ける予定です。またブックポストの設置を検討しています。

### ③紛失図書問題

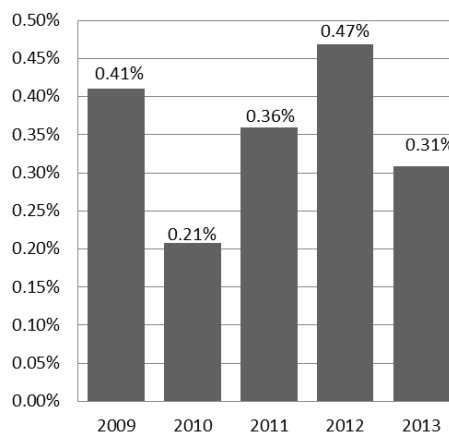
紛失図書の総数が本年度は144冊(昨年度は207冊)と減少しました。蔵書数に対する紛失数の割合、図書紛失率は0.31%であり、改善がみられますが100冊を超える状態が続いています。

新年度になって所在が確認される図書も少なくないのですが、紛失した理由としては貸出手続きをしないまま持ち出したものが多数を占めると考えられます。公共図書館の紛失率(約1.33%)と比べて低いものの<sup>3</sup>、利用指導の徹底が必要です。また、ICタグによる蔵書管理の可能性を検討しています。

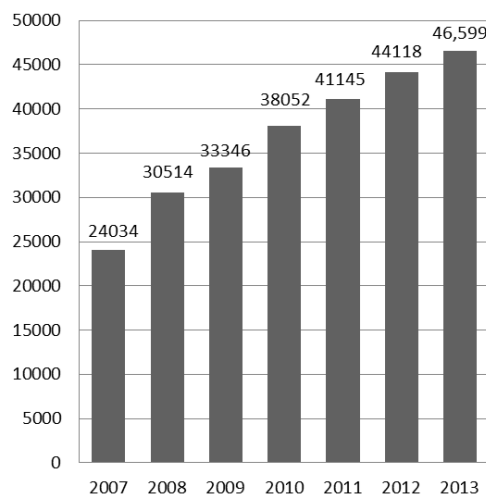
### ③スペースの限界

リブラリアの書架の容量は、積極的な除籍と書架の配置の工夫により増加したものの、限界に近づきつつあります。本年度は1,286冊の除籍をしましたが、蔵書は2,481冊の増加となりました。

スタディーホールの書架容量を増やすなどして、対応したいと考えていますが、1~2年後には飽和状態に至ると予想されます。



紛失率の推移



蔵書数の推移

<sup>3</sup> 歳森ほか「公共図書館におけるブックディクテーションシステムの設置効果」『日本図書館情報学会誌』Vol.46, No.1, March 2000, p.33 比較できる学校図書館の紛失率の調査は見つかりませんでした。



**L I B R A R I A**  
  
**SEIKYO**